

ムスリム 治 代のスペイン

4.7

明:
ムスリムたちがスペインに到 すると、それまで 学な人々を し、不毛だった土地は、ヨ ロッパにおける学 と の中心地として え、あらゆる宗教はムスリムの 治下で安全を保障されました。

目:[事イスラ ムの 史](#)

より: ディ ン ダ ハック (IslamReligion.com)

日 6 Sep 2011

集日 26 Sep 2011



ヨ ロッパ文化について考えるとき、まず最初に をかすめるのはルネッサンスではないでしょうか。ヨ ロッパ文化の多くは、芸 、科学、商 、建 などが 展した、その かしき 代にル ツを辿ります。しかしルネッサンスよりもずっと前に、ムスリム 治下のスペインにおいてヒュ マニスティックな美が存在していたことをご存知でしょうか？ それは芸 的、科学的、商 的ただただでなく、同 に信じられない程の 容さ、イマジネ ション、情を含んでいたのです。ムスリムたちはスペインに700年近くに渡って居住していました。これから 明されるように、彼らの文明こそがヨ ロッパを 蒙し、暗 代から け出す案内役を担い、ルネッサンスへのきっかけを与えたものだったのです。彼らの与えた文化的 知的影 は、今日においても 出すことができます。

はって8世、ヨロッパはまだ中世の真っ只中でした。その著「The Day The Universe Changed（全宇宙が変わった日）」において、史家ジェムズバクは一般的なヨロッパの住民がどのような生活をしてきたかを描写しています：

“住民たちは、狭い通路の真中にあった排水に、すべての物を放り込んでいました。臭は烈だったでしょうが、どうやらそれはに留められていなかったようです。尿の混ざった床はアシヤワラで覆いされていたのです。”（32）

このようならしい社会は封建制度によって管理され、商的な活に似通ったものがあったただけでした。カトリック教会は々な制の上に、金のし付けも禁じていたため、展への道はざされてきました。“それ以前には稀だった反ユダヤ主が次第に加してきました。教会によって禁じられていた通の与は、ユダヤ法では可されてきました。”

(Burke, 1985, p. 32)

ユダヤ教徒はしく迫害されながらも、通の展に尽力しました。中世ヨロッパは教、迷信、野蛮さ、物の蔓延した悲惨な地でした。

この同代に、ムスリムは南部からヨロッパに出しました。ムスリム帝国のカリフ一族の生き残りだったアブドッラフマーン一世は、700年代中にスペインに到しました。彼はムスリムが治したスペインの区画の通称であるアル＝アンダルスの初代カリフに就任しました。そのさはイベリア半の大半を占めました。また彼はアル＝アンダルスを300年以上に渡って治したウマイヤ帝国の者でもあります (Grolier, History of Spain)。アル＝アンダルスは、“バンドル族の地”を意味し、在使われているアンダルシアの源となりました。

当初、そこは他のヨロッパ各地同にらしい土地でした。しかし、ムスリムたちは200年もかからない内にアル＝アンダルスの文化、商、美を花させたのです。

“シリアとムスリミアから入された灌の概念は、乾いた平地をな土地へと豹させました。オリブや小麦は以前からされていましたが、ムスリムたちはザクロ、オレンジ、レモン、ナス、アティチョク、クミン、コリアンダ、バナナ、アモンド、ヘンナ、アカネ、サフラン、サトウキビ、コットン、米、イチジク、ブドウ、

桃、アンズなどを栽培したのです。”（バク、1985、37）

9世初になると、首都コルドバをするムスリム治のスペインは、ヨーロッパの宝となっていました。「コルドバの大ナカリフ」と呼ばれたアブドッラフマン三世の治期には、アル＝アンダルスが黄金期を迎えていました。スペイン南部のコルドバは、ヨーロッパの知の中心地となりました。

ロンドンが依然として「街灯一つ灯すことも出来なかった (Digest, 1973, p. 622)」小い村だったとき、コルドバは：

“…50万人の人口が11万3千の家々に住んでいました。そこには郊外も含め、7百のモスクと3百の公浴が街中にありました。道路は装され、街も灯されていたのです。” (Burke, 1985, p. 38)

“家々には大理石で出来た夏用バルコニがあり、モザイクの床下に温を通す配管が冬用に敷いてありました。家々は庭や水、果などによって美しさが引き立てられていました” (Digest1973年、622) “西洋においてまだ未知の存在だったが溢れていましたし、本屋は当然のこと、70以上のもありました。” (Burke, 1985, p. 38)

ジェムズクルジはその著「Spain In The Modern World（代世界の中のスペイン）」の中で、中世ヨーロッパにおけるコルドバの重要性についてこう明しています：

“その代には、ヨーロッパ中を渡しても同の土地は他にありませんでした。大の者は、あらゆるものをスペインに求めました。そこは、人と「トラ」が最も明に区された地だったのです。” (Cleugh, 1953, p. 70)

10世末、コルドバはヨーロッパの人にとっての、いわば知の宝でした。学生たちはフランスやイギリスから哲学、科学、医学を学ぶため、ムスリムキリスト教ユダヤ教学者たちの教えを乞いに旅してきました (Digest, 1973, p. 622)。コルドバの大だけでも、60万の写本が存在したのです (Burke, 1978, p. 122)。

この 10 世紀で洗 された社会は、他信仰に して 容な立 を取りました。当 のヨ ロッパにおいて、 容の精神は前代未 のものでした。しかしムスリム 治下のスペインでは “ムスリム 政者の下、何千人ものユダヤ教徒やキリスト教徒たちが安心と 和によって 共存していたのです。” (Burke, 1985, p. 38)

不幸にも、こうした知的かつ 的な繁 の 代は斜 し始めました。法の支配から逸脱し、ムスリム 力者 の内部分裂が起きたのです。ムスリムの 和は 力の 争によって分裂し出しました。最 的にカリフは追放され、コルドバはムスリム 力の手に落ちました。“1013年、コルドバの大 是は破 されました。しかしながら、新 政者はイスラ ム的 になり、コルドバの学者たちと共に 数の小首 国の各首都へと本を配布することにしました。” (Burke, 1985, p. 40)

かつての 大なるアル=アンダルスの知の 是は、小都市の 是で分割されることになりました。

…北部のキリスト教徒たちは、それとは正反 のことをしていました。北部スペインでは、 々なキリスト教王国がヨ ロッパ大 におけるムスリム排除の共通目的のもとに した のです。(Grolier, History of Spain) この大行事が、中世最 の 代に起きたのです。

ジェ ムズ バク の著 「Connections」では、いかにムスリムによってヨ ロッパが暗 代から 解させられたかについて 明されています。“しかし、ヨ ロッパにおける知的 科学的により大きな 献をしたのは、キリスト教徒による1105年のトレド没落でしょう。トレドにはムスリムたちによる巨大な 是がいくつもあり、そこにはギリシャとロ マの (キリスト教徒の手によって) 失われた古典と共に、ムスリムによる哲学や数学の研究成果があったのです。“スペインの 是が かれると、ヨ ロッパのキリスト教徒たちはムスリムによる最高水 の学 に 愕したのです。” (Burke, 1978, p. 123)

トレドの知の略 是は北ヨ ロッパの学者たちを 集させました。キリスト教徒たちはトレドにおける大 模な翻 事 を 始しました。彼らはユダヤ教徒たちを翻 者として雇い、ムスリムの 物をラテン に しました。これらの 物には、“ギリシャ哲学 科学の有名作品の殆どと、ムスリム独自による学 も多く含まれていました。” (Digest, p. 622)

“北部の学者らが した、スペインにおける知的社会は、彼らのものよりも遥かに卓越したものだだったため、ムスリム文化に する深い嫉 の念を生み、それによって西洋は数世 にも渡ってムスリムへの偏向的 解をし けたのです。” (Burke, 1985, p. 41)

“それらの 物によって取り われていた学 の には、代表的なものとして医学、占星学、天文学、理学、心理学、生理学、 物学、生物学、植物学、 物学、光学、化学、物理学、数学、代数学、 何学、三角法、音 、 象学、地理学、力学、流体静力学、航海学、 史学などが含まれていました。” (Burke, 1985, p. 42)

しかしながら、これらの 物自体がルネッサンスへと くのろしを上げたわけではありません。彼らはそれらにヨ ロッパの知 を り交ぜたのですが、それらの殆どは、ヨ ロッパ人による世界の 方への 化なしには真 を められなかったものでした。

中世ヨ ロッパは迷信的で理性に欠けた 代だったということを忘れてはなりません。 “に知的爆 を炸裂させたのは、それらの 物の哲学だったのです。” (Burke, 1985, p. 42)

キリスト教徒はスペインの再征服を け、彼らの 界に入ってくるものを 戮し、破 しました。 物への危害は 逃されましたが、ム ア文化は破 され、彼らの文明は 焉したのです。皮肉にも、ムスリムを打倒したのはキリスト教徒 の 力だけによるものではなく、ムスリム 自身の不和による要素もありました。 去のギリシャやロ マのように、アル=アンダルスのムスリムたちはモラルの腐¹

に直面し、彼らを 大たらしめた知性の道を踏み外してしまったのです。

ムスリムの各避 地がキリスト教徒によって侵攻されている も、翻 事 は 行していました。コロンブスが新大 を したのと同じ1492年、ムスリムの最 の であったグラナダが没落しました。知 の 得者は、その英知の 人ではなかったのです。残念なことに、信仰を放しないユダヤ教徒とムスリムは、皆 しにされるか、流刑 分にされました (Grolier,

History of

Spain)。こうして 容の 代は りを迎え、ムスリムのものとして残されたものは、彼らの物だけとなったのです。

ヨ ロッパがムスリムの 物から学んだものを理解することは大きな に しますが、それらの知 が生き残ったことは、さらなる きでしょう。その溢れんばかりの知 から、 史上初の大学が姿を表し始め、 学校や大学の 位制度も されました (Burke, 1985, p. 48)。私たちが今日使用する数字は、ムスリムに直接由来します。ゼロ (ムスリムの) の概念も、 翻 によってもたらされたものです (Castillo & Bond, 1987, p. 27)。また、ルネッサンス建 の根本原理がムスリムの から生まれたものであると言ったとしても、それは 言ではないでしょう。ムスリムの である光学と共に、彼らの 物で かれた数学と建 学が、ルネッサンス美 の 近法として れました (Burke, 1985 p. 72)。最初期の法律家たちは翻 された知 を元に、その を始めました。私たちが今日使用する食器でさえも、コルドバのキッチンにその起源を辿るのです (Burke, 1985 p. 44)。これらすべての例は、ムスリムによってヨ ロッパの 造がいかに改革させられたかを 示すものなのです。

Footnotes:

1

つまり、彼らの宗教の教えをないがしろにすることによってです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/522>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。